



関西いのちの電話



大阪城



人は一人で生きられない

一般社団法人 親切会 関西支部 支部長 朝野 順男

人は一人で生まれ一人で死んでいきます。その間は懸命になって生きていくわけですが、決して一人で生きているわけではありません。いろんな人の励ましや、助けによって生きていくのであります。両親、家族、友人、先輩、恩師、職場の同僚、上司、恋人、病院の医療スタッフ、牧師さん、住職さん、弁護士さん、警察、裁判所、行政の福祉担当者などいろいろな方々の助けがあって、生きていくのであります。

さて、そうは言っても人生谷あり山あり、一寸先は闇であり、予期せぬ不幸、辛い、死んでしまいたいような出来事に遭い、苦しい思いをしている人はたくさんいます。

愛する恋人に裏切られたり、信頼していた友人の連帯保証人になったばかりに莫大な借金を背負わされたり、家庭内暴力で苦しんでいる人、子供の登校拒否や非行で苦しんでいる人、大病を患ったり、災害で家族や全財産を失ったり、学校、職場、地域社会で悪質・執拗ないじめを受けたり、これまたいろいろです。最近ではコロナ禍で収入の道を閉ざされた人もいます。

苦しい状況から八方手を尽くして脱出できる人もいます。

が、中には心の傷があまりに深く、人への信頼を無くし、生きる力を無くし、死にたいと思う人もいます。

命の危機に遭遇しているのです。

このような人々の心に寄り添い、話を聴き、生きる力を取り戻してくれるよう支えるのが「関西いのちの電話」の活動であります。

「関西いのちの電話」の相談員の皆様は、命の危機にある人に寄り添うために、24時間365日活動を続けておられます。本当に頭が下がります。

私共「親切会」は、大阪を、日本を親切な人でいっぱいになりたい、少しでも困っている人の力になりたい、世のため人のために尽くしておられる人や団体を応援したいという思いで活動しており、そういうことから微力ながら「関西いのちの電話」を応援させていただいております。

最後になりますが、「関西いのちの電話」の益々のご活躍、相談員の皆様の奮闘、ご健勝を祈念申し上げ、筆をおかせていただきます。

関西いのちの電話 相談電話 (24時間365日) ☎06-6309-1121
自殺予防いのちの電話 毎月10日 午前8:00～翌日午前8:00 ☎0120-783-556

関西いのちの電話 第39回公開講座

ひとりも、死なせへん ～大人のための死の授業～

日時：2022年2月12日(土) 場所：ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)7Fホール

講師 長尾和宏氏 医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長



2月12日(土)ドーンセンター7Fホールにて、第39回公開講座「一人も死なせへん ～大人のための死の授業～」が開催されました。

昨年度は、新型コロナの影響を受けて開催を断念致しました。今年度も厳しい状況にありましたが、多くの方のご支援、ご協力により開催できたこと、定員を半分としてのホールがいっぱいとなるほどの多くの方々を訪れてくださったことを心より感謝いたします。

長尾和宏氏は、勤務医時代に地域医療の必要性を実感され、1995年に尼崎市(兵庫県)に「長尾クリニック」を開業、現在は外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合医療を目指し日々奔走されています。在宅医療のオピニオンリーダー的な存在であり、日本尊厳死協会副理事という立場から、高齢者の健康、終末期医療、尊厳死・平穏死について啓発活動にも従事されています。「平穏死・10の条件」「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラーとなり、2021年春には「痛くない死に方」が映画として公開されました。

講演では最初に、個人的な話としてお父様のうつ病での自死について語られました。高校3年生の時に初めて死に接したこと、それが父親の自死であったことは受け入れられず、自暴自棄となり苦しみ、その後の生き方、さらにはご自身の死生観に大きく影響し、医療の道に進む原動力となりました。また、勤務医時代に経験したある患者の自死を通して在宅医療の必要性を感じ開業に至ったとのことでした。

お母様は夫の死後、いのちの電話相談員としてボランティア活動をされていました。長尾氏の「何のために?」という問いかけに「困っている人、死にたいと思う人がいる。力になりたい。」と語られたお話を紹介され、いのちの電話の活動が貴い活動であるとお話くださいました。さらに、ご自身が「死にたい」と思ったことが何度もあったこと、救急医療勤務時代の出来事などを通して、自死を考える際のキーワードが「孤独」であり、それにいかに寄り添うかが大切であると強く訴えられました。

また、新型コロナに関わって様々な側面からお話があり、今何が課題になっているのかの指針を示していただきました。

長尾氏は日本尊厳死協会副理事長であり、海外の事例も紹介されながら、尊厳死と安楽死について解説がありました。「安楽死」とは苦痛から患者を解放するために意図的・積極的に死期を早める医療的措置を行うことで、「尊厳死」とは自分が不治かつ末期の状態になったとき、自分の意志により、自分にとって無意味な延命措置を中止し、人間としての尊厳を保ちながら死を迎えること。報道番組や映画の鑑賞を通して、「あなたはどう思いますか?」と一人ひとりに問いかけがあり、死を語ることをタブー視せず、今後も向き合っていく必要性を強調されました。

最後に、「死後の世界はある?」と問いかけられ、「人間は弱い存在である。孤独を抱えている人には寄り添うしかない。」「いのちは貴いもの。一度きりだからこそ大切にしていきたい。」と締めくくられました。

一人ひとりが、「いのち」「死」を様々な視点から考え、自らの死生観を見つめる貴重な時間となりました。改めて傾聴と寄り添いの大切さを感じ、これからのいのちの電話の活動を通して向き合っていきたいと思いました。

こんなこともやりました! ありました!

2021年12月～2022年3月

- ・ 12月3日 大阪府自殺対策審議会(理事長出席)
- ・ 12月22日 事務局大掃除
- ・ 1月18日 中部・近畿ブロック会議(リモート 理事長・事務局長参加)
- ・ 1月26日 近畿ブロック合同研修会(リモート 相談員10名参加)
- ・ 2月18日 連盟広報委員会(リモート 事務局長参加)
- ・ 3月30日 理事会

※日本財団からの全額助成で、会議室大型エアコン2台設置(ウイルスフィルター付) & 各部屋全てのエアコンと天井換気扇の洗浄&整備工事を12月に完了しました。又、1月にパソコン4台も購入出来ました。

24時間・365日「眠らぬダイヤル」として相談活動をおこなっています
皆さまのご支援が、電話をつなぎ「いのち」をつなげます。
いのちの電話の活動を支えてください。

募金をお願いします

お振込先 ※社会福祉法人へのご寄付は税制上優遇されます。

口座名義：社会福祉法人関西いのちの電話

口座番号：ゆうちょ銀行 00990-3-68480

：三井住友銀行 十三支店(普) 998829

関西いのちの電話と私（その2）

元 関西いのちの電話相談員

臨床心理士・大阪学院大学学生相談センター相談員 安田 一之

前回は印象的な受信電話の話を紹介させていただいた。今回はボランティア仲間との思い出を記してみたい。私の関西いのちでの活動は、第13期電話相談員として開始された。以降約30年間相談員として続けられたことには様々な要因があると思われるが、その一つとして最初に受けた印象的な電話が（前回紹介した）あると言ってもいいだろう。それともう一つ、忘れてはならないのは相談員仲間との交流であろう。

はじめて電話相談センターに行った頃は何もかもが目新しく感じられた。京都郊外から電車で約40分かけて通った。最寄り駅の人々の多さや、食べ物店や飲み屋の喧噪に驚き、それらを横目で見ながら、車の通行量が頻繁な道路の側道をいのちの電話の建物に入った。すると、気のせいか何となく違った空気が流れている気がした。やや薄暗い室内、古いが頑丈そうな柱に支えられた建物の二階に事務局があり相談室や談話室があった。松葉杖のK総主事に数名の事務局員と相談員の姿があった。外の世界とは確かに違った雰囲気があった。最初は少々戸惑ったがそれでも私は、得意とする冗談やいい加減な話、間の抜けた話題を提供して、いつしか顔見知りや親しい人々ができてきた。きっと、どこか明るいとはけた話が好きな大阪の人たちと気が合ったのだろう。変な男と思いながらも親しく接して下さっていたに違いないと今は思う。そんな仲間には感謝の念で一杯である。ボランティアを楽しく続けるには仲間や友人の存在は大きいと実感する。

相談員として気持ちよく過ごしていたがある時、訓練委員になるよう告げられた。「えっ」と驚いたが、関心がある世界で評価されたと思いお引き受けした。さっそく17期の人のスーパーヴィジョン（聴き方の指導）を担当することになった。最初の人はNさんという大阪近郊から来られている中年の女性だった。彼女は心理療法に関心があり数年前から何かがあると話を聴いてもらって断続的にカウンセリングを受けているということだった。彼女の話を私がよく知っている人の名前が出てきて「友達の友達は友達だ」とばかりに親しさを感じた。まだ心理療法が一般的に知られていない時代の狭い世界での話だったので共通の知り合いは案外に多かった。SVが終わっても個人的なカウンセリングを頼まれお引き受けした。さらに様々な心理療法の研修会やワークショップで顔を合わすことがあった。そんな中で2004年12月に「スマトラ島沖地震」が発生した。M9.1の大地震である。

「わー、すごい地震が起こったな」と、どこか他人事のように思っていたが、その地震で発生した津波でNさんはスリランカで亡くなったという話が伝わってきた。ヨーガの研修のために訪れていた地で津波に出会ったというのだ。全く信じられない話だったが事実だった。数日後、豊中で通夜が行われた。参列者の顔は信じられないという表情だった。その席でもう一つ驚くことがあった。スリランカヨーガ旅行を企画した旅行会社の社長は私の知っている人だったのだ。

話はさかのぼるが1989年4月中国で天安門事件が起こった。私は当時勤めていた高校の同僚と中国旅行の計画を立て、参加予定者どうしてお金を積み立てていた。しかし旅行の直前にこの事件が起こったため、旅行の計画は中止になってしまった。

その頃、関西いのちの電話の相談員でヨーガの指導者をしている人がいて、彼女がインド旅行を計画しているという話が伝わってきた。私には積立金があるのでその話に乗ることにした。関西いのちの電話からは他に、ご夫婦で相談員をしておられる方が参加された。東京いのちの電話からも参加者があった。初めてのインド旅行は珍しいことの連続で楽しいものになった。このインド旅行を企画・実施した旅行会社の社長が、なんとNさんのヨーガ研修を企画した会社の社長だったのだ。「マアなんということか」と驚いたものだ。インド旅行に東京から参加されたY氏は当時未婚であった。旅行中に「間もなく結婚する、それも夫婦別姓で」と言う。「夫婦別姓」というのに驚いた私は結婚式に出たいと申し出た。許可を得て、関西から参加したお二人と共に参列した。東京いのちの電話の仲間うちの温かい感じの結婚式であったと記憶している。ボランティア繋がりでもY氏とも知り合え、現在も親しくお付き合いして頂いている。

日常の当番活動の中での仲間との関係も忘れられないものがあった。深夜帯の当番の時には、風呂おけを持ってきて、近くの湯につかってから電話当番をするMさんは、とぼけた表情も相まって宇宙人と呼ばれていた。彼は大阪中の銭湯に入ることを目標にしていると言って面白い銭湯の話聞かせてくれた。電話当番の時には茹で卵を20個ばかり持ってこられた初老の相談員。グループ活動の後は、駅近くのなじみの居酒屋でご苦労さん会をしてご機嫌になって帰った等々は、いい思い出になっている。その居酒屋の主人は絵描きでもあり、特別にお店で絵画の話をしてもらい参加

した相談員の似顔絵を描いてもらった。

初代の総主事は引退後も、深夜帯にいられて相談員の話
を聞いておられた。二代目のK総主事は京都アムネステー
の代表をしておられた。私にも声が掛かり、アムネステー
京都の一員として活動させてもらった。

そうこうしているうちに、「関西いのちの電話」の理事に
推薦され、役不足であることを承知の上でお引き受けした。

記憶をたどって書いてきて、書き漏れたことの方が多いが、
これら仲間との交流がボランティア活動に花を添えてくれた
ことは確かだ。電話相談で人間の悲しみと接し、さらに交友
関係を広げられ、様々な経験により、少しはましな人間に成長
させてもらった。



プロフィール
高校教員を経て大阪学院大学教授を務め、現在は同学学生
相談センター相談員。関西いのちの電話では1979年から
42年間、相談員、理事、訓練委員長を歴任し、現在も養成
講座講師、研修会講師、傾聴セミナー講師を務めている。

あたたかいご支援ありがとうございます

2021年11月1日～2022年2月28日までに、次の方々から社会福祉法人関西いのちの電話への寄付をいただきました。
心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。 (五十音順 敬称略)

【個人】

青山 洋	大坂 雅巳	岸本 彰五	佐野由紀子	竹村 武男	野崎 京子	松野 五郎	山内 通生
浅野 敏行	大塚 伸二	北之坊 皓司	山藤 和子	田中 義信	浜本由紀子	水野 泰行	山田 孝彦
荒屋 昌弘	大津 久直	楠木 一正	志水紀代子	田中 豊子	林 竜弘	宮下 弘道	山村 雅勇
壹岐 友香	大畑 了子	康 由美	白方 誠彌	道免 逸子	林 和子	ミヤザキヒロシ	山本 澄子
石井 崇	小頭 誠	河野 友弘	菅谷 道子	長尾 文雄	林 幸	宗像千代子	米澤 利彦
今村 良子	小川 晃司	小村 典子	杉浦真喜子	長野加代子	平野 雄二	望月 拓郎	李 賢祥
岩下 剛	尾谷 昌彦	近藤 英子	杉山 邦子	中野 爲夫	藤田 淑雄	森澤 嬉久乃	劉 李
上坂 和美	金岡 重雄	阪下三千子	隅田 保	中野 桂子	細田 敦子	森本 美紗子	匿名 11名
宇野 徹	神谷 尚孝	佐々木 薫	高橋 明	西村 雅一	菅田 俊郎	八尾 和彦	
江崎 和子	河辺 哲郎	左藤 章	瀧 成和	野崎 園子	待田 順治	安岡久美子	

【団体】

青谷クリニック	汚れなきマリアのクラレチアン宣 教修道女会	日本キリスト教会 香里園教会	日本基督教団 都島教会
有限会社あさひ保険	(医) 小池診療所	日本基督教団 神戸雲内教会	日本基督教団 武庫之荘教会
医療法人いちえ	合資会社 寿屋	日本基督教団 阿倍野教会	日本自由メソジスト教会 布施源氏丘教会
いのち奏でるコンサート基金	ユニオン株式会社	日本基督教団 石橋教会 婦人会	日本聖公会大阪教区婦人会
大阪IIソングクラブ	在日大韓基督教教会向上社保育園	日本基督教団 伊丹教会 婦人会	日本聖公会 大阪教区 川口基督教会
大阪聖愛教会	(医) 三家クリニック	日本基督教団 茨木東教会	日本ナザレン教団 大阪桃谷教会
大阪聖ヨゼフ宣教修道女会	シン・クリニック	日本基督教団 大阪教会	日本バプテスト宣教団 池田キリスト教会
大阪帝塚山ライオンズクラブ	聖公会 聖職主教会	日本基督教団 大阪東十三教会 女性の会	(宗) 池田バプテスト教会
小林聖心女子学院 奉仕部	聖バルナバ病院 礼拝堂	日本基督教団 甲子園二葉教会	日本バプテスト大阪教会
カトリック鈴蘭台教会	聖母被昇天修道会 西成修道院	日本基督教団 聖峰教会	能勢ライオンズクラブ
カトリック玉造教会社会活動委員会	聖母奉獻修道会	日本基督教団 千里丘教会	梅花中学校、高等学校
カルメル会修道院	ちかまつクリニック	日本基督教団 高石教会	松村クリニック
関西学院 宗教活動委員会	日本イエスキリスト教団垂水教会	日本基督教団 塚口教会	メンタルクリニックおかだ
(医) キム診療所	日本基督教団大阪北教会 社年会	日本基督教団 豊中教会	レデンプトリスチン修道院
京谷クリニック		日本基督教団 東梅田教会	匿名 3件

バザー等協力【個人】

小崎 公子	島 弘子	伊達 真理	匿名 2名
-------	------	-------	-------

バザー等協力【団体】

愛徳カルメル会 本部修道院	大阪 YMCA 中高齢事業推進部	大阪土佐堀 YMCA	YMCA こそか	株式会社東リ
愛徳カルメル修道女会 垂水修道院	大阪 YMCA 国際専門学校	大阪南 YMCA	桃の里 YMCA	
江崎グロコ株式会社	大阪 YMCA ランゲージセンター土佐堀	YMCA あわび保育園	大阪北摂 YMCA	
大阪 YMCA 統括本部	大阪 YMCA 英語幼稚園 土佐堀園	YMCA サンホーム	かわにし YMCA	

◎他に相談員・理事・評議員・有志などが支えています。

永年相談活動者の「思い」

今年も、新型コロナウイルスの影響で、認定式も永年活動感謝式も延期となりました。永年活動者を代表して3名の方に、活動を続けてこられたことを振り返り、その「思い」を語っていただきました。

今迄の生活に風穴をと動いた日

あれから30年が経ったことを教えて頂きました。面接を終え「緊張したね」と語り合った友は、数年前に旅立たれ歳月を思います。何気ない会話、「自分の存在尊重してよ」の思いは誰しも欲求。満たされなかった思いが強いからこそそのエネルギーに耳を傾け一歩踏み出したことで、男女年齢関係なく出会いの広がった世界。「側にいますよ」に何人の方が感じ受けて下さったのか、電話の向こうと言葉を交わしてゆく自分自身が問われる場。時にそっと、時に細やかに動き、「お疲れ様、お先に」の言葉は自分を耕し育てゆく交わりの場。多くの人々に支えられながらここ迄続けてこられたことに感謝の思いです。 26期 J.T.

重い足取りの先に

電話当番に向かう足取りはいつも重い。それは20年変わらない。最初の数年は手ごたえや使命感に満ちていた時があったかもしれない。けれどもやはりその足取りは重かった。深夜当番の足取りはとりわけ重い。家路を急ぐ人々に逆らいながら、あえて暗闇に向かっていくような心許なさでいっぱい。20年経てば、さすがにもうそういうものだと思うようになってきた。あるいはそう思うままにしておこうと。そしてそのままにブースに入り、受話器を取り、電話の向こう側にいる人としばしの時を共にする。電話の向こう側の世界はハッピーなものではない。暗く、きつく、理不尽に満ちた世界だ。ただそうした世界の中にしか、共にあることとか、人と人が関わるとか、あるいは生きる意味などというものは見出しようがないんじゃないかとも思う。暗闇の中にしか本当に大切なことはないはずだ。だから足取りの重いままに、歩けるところまで歩いてみようと思う。 36期 N.T.

感謝の10年

20年程前、ある講座であなたはここより「いのちの電話」に向いてるよと言われたのが、「いのちの電話」との出会いでした。何年かして時間に余裕ができ面接を受けました。あれから毎年4月、正門を入り桜の下を通る度、来年もこの桜を見られるだろうかと思いながら10年経ちました。初めて取った自殺実行中の電話、僅か3分で切れてしまい、真っ青になって身体を震わせ事務局に駆け込んだ私を、しっかり抱きしめて下さった事務局の方。涙がポロポロ出て止まりませんでした。当番の後、収まらない気持ちを語り合った仲間。研修グループの合宿で、みんなと夜遅くまで話し合い、自分を見つめ直した事。たくさんの人に支えて頂きながらここまで辿り着きました。そして何より、電話のかけ手の方々。その真剣な生き様に触れ、いつのまにか私が生きる力を貰い、前に進んでいたと気づきました。又、10年を目指して、かけ手の電話にしっかり向き合っただけでいいと思います。 46期 M.Y.



知ってナットク! 相談員



相談員になろうとしたきっかけ(その2)

身近な人を自死で失い、あの時こうしてたらとか、もっと何かできたんじゃないかとか、どんな思いで逝ってしまったんだろうとか…、考えるばかりで動けなくなっていた時に「いのちの電話 相談員求む」との新聞記事に出会いました。

傍にいなから力になれず、大切な人を自死させてしまった悲しさや悔しさ、自責の念は、一生抱えていくのだらうと思っています。あの時できなかった分、私にでも何かできることはないだろうかと電話を受けていますが、ちゃんと傍にいて、寄り添うことの難しさを感じています。

それは年の瀬も迫った、ある週末のことだったと記憶している。カーラジオから「いのちの電話」に関する情報が流れていた。私自身はちょうど、長年かかっていた知的障がい者の外出支援を行っていたグループが解散を余儀なくされ、他に何か自分のできることはないかを探っていたところであった。何気なくラジオを聴いていた私は、「これも何かの縁」と感じ、さっそく、年明け早々に千里文化センターで行なわれた「傾聴セミナー」に申込み、安田先生のお話をお聴きした。そして是非この活動にかかわりたいと思った。

以降、書類選考、大変緊張した面接試験を経て、沈黙が延々と続く針の筵の宿泊研修、日々の予定調整が大変だった毎週木曜日の養成講座、初めての者にとっては地獄のような資料作成、自信と自身を打ち砕かれるSV等を経て、昨年3月、無事相談員の認定をいただいた。今やそれらすべてが「聴く」ための糧になっていると感じている。微力ではあるが今後も細く長く、この活動を続けられたらと考えている。

本当は、自分が話を聞いてもらいたかったのだと思う。そして、あなたは独りじゃないよって言って欲しかったのだと思う。

家の反対を押し切って大学に出てきたものだから、入学と同時に一年間休学手続きをして、学費も生活費も自分でアルバイトしながら生活していた。自分で勝手にしていることだから、誰にも、何にも言わなかった。自分のことを誰にも何も言わずに、この世界を自分独りで生きているような気持ちでいた。ずっと、根無し草のような気持ちのまま。『あなたは独りじゃない』って、よくいうけど、でも、独りぼっちのひとりもいるんじゃないかなあ?と思いながら生活していた。

ある日、JR西日本のいのちのセミナーに参加した時、関西いのちの電話の募集要項チラシを見つけた。いつのまにか、何かに呼ばれたように応募していた。そして、いつの間にか関西いのちの電話にいる。

もし、あなたが電話をかけてきてわたしとつながって、自分のことを話してくれたなら、話してくれてありがとうと言いたい。もし、あなたが、自分が独りだと思っているなら、あなたは独りじゃないよって言いたい。



問いかけることと共感 19 「自己開示と フィードバック」

いのちの電話は、「対話」がキーワードになっています。つまり悩みを持った相談者（かけ手）と相談員（聴き手）の対話を通して、かけ手の訴えを傾聴し、受け止め、認め、かけ手自身が解決の糸口を掴んでいく。相手の気持ちや生き方を支えるプロセスを電話によって支援することです。

私たちの「対話」をかけ手と聴き手との間に起こる自己理解のプロセスとして考えてみます。

このプロセスを対人関係でやり取りされている自己開示とフィードバック（FB）を用いて説明しましょう。

かけ手は、電話で自分の悩みの内容やその背景について語ります。聴き手は相手の語りを受け止めようとして聴きます。この時、聴き手はかけ手に「あなたの話を聞いていますよ」ということを伝える必要があります。

そこで聴き手自身はかけ手の話をどのように受け

取り、理解したか、どのような影響を受けたかを相手に伝え返すのです。これをFBと言います。

このFBは簡単に言うと、かけ手の鏡になることです。この鏡はできるだけ歪にならないで、客観的に見る眼と、自分が受けている影響に気づく感覚を持つことです。そのために自分の持っている価値観というフィルターをひとまず外すのです。

「私はあなたの話を聞いて、〇〇と受け取り、△△な気持ちになっています」と。

聴き手からのFBは、かけ手が今の自分を見る材料となり、「そんな自分だ」と受け取るとかけ手自身の自己理解が深まるのです。

一方このFBは、聴き手自身にとっても、自分が今どのようにかけ手の話を聞き、受け止め、理解し、自分の中に何が起こっているかを開示することになります。かけ手に対しての自己開示であり、それによって自己理解が深まるのです。

このFBと自己開示のやり取りが電話相談での「対話」のプロセスです。

（長尾文雄・元大阪女学院大学／短大講師）

傾聴セミナー&電話相談ボランティア説明会 「傾聴するということ」

昨年に引き続き、本年も「傾聴セミナー」を、下記の日時と場所で開催します。

講師として、安田一之氏（元相談員・臨床心理士）、柏木哲夫氏（淀川キリスト教病院名誉ホスピス長）を、お迎えして、聴くことの大切さを学びます。

- 5月14日（土）13:30～15:00 講師：安田一之（天満橋ドーンセンター 5階）
- 5月19日（木）19:00～20:30 講師：柏木哲夫（大阪駅前第2ビル 6階）
- 6月 4日（土）13:30～15:00 講師：安田一之（天満橋ドーンセンター 5階）
- 6月16日（木）19:00～20:30 講師：柏木哲夫（大阪駅前第2ビル 6階）
- 7月 2日（土）13:30～15:00 講師：安田一之（天満橋ドーンセンター 5階）

◆参加費：500円 ◆定員：30名 定員になり次第締め切り

◆申込・問合せ：関西いのちの電話事務局 TEL：06-6308-6868
FAX：06-6308-6180 E.mail：kaind@x.age.ac

この広報誌は、令和3年12月に実施された大阪府共同募金会の助成を受けて発行しています。府民（寄付者）のみなさまに感謝いたします。

編集後記

「コロナ禍」も3年目になり、様々な影響が表れ、変化が求められている。人と人との接し方にも、アクリル板を通しての話し合い、インターネット経由での会議等々。

物理的・空間的な変化が、人と人のつながりにどのような変化を引き起こすか見通せるには、まだまだ時間が必要。

今号の記事には人と人とのつながりが、様々に記されている。苦しむ人、困っている人への思いやり、手助け、そして心を通じてつながることにより、人間としての成長を、生きる力を、得たとの思いが語られる。それらの大切な部分は、影響を受けなくて、変化しないと思いたい。

(H.S)

電話相談受信状況（2021年～2022年）

受信月	11月	12月	1月	2月
受信件数	1,498件	1,534件	1,453件	1,271件
相談員数(延)	411人	411人	416人	362人

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
TEL 06-6308-6868
FAX 06-6308-6180

発行人 李清一 編集 広報委員会
ホームページ <https://kaindnew.com>

